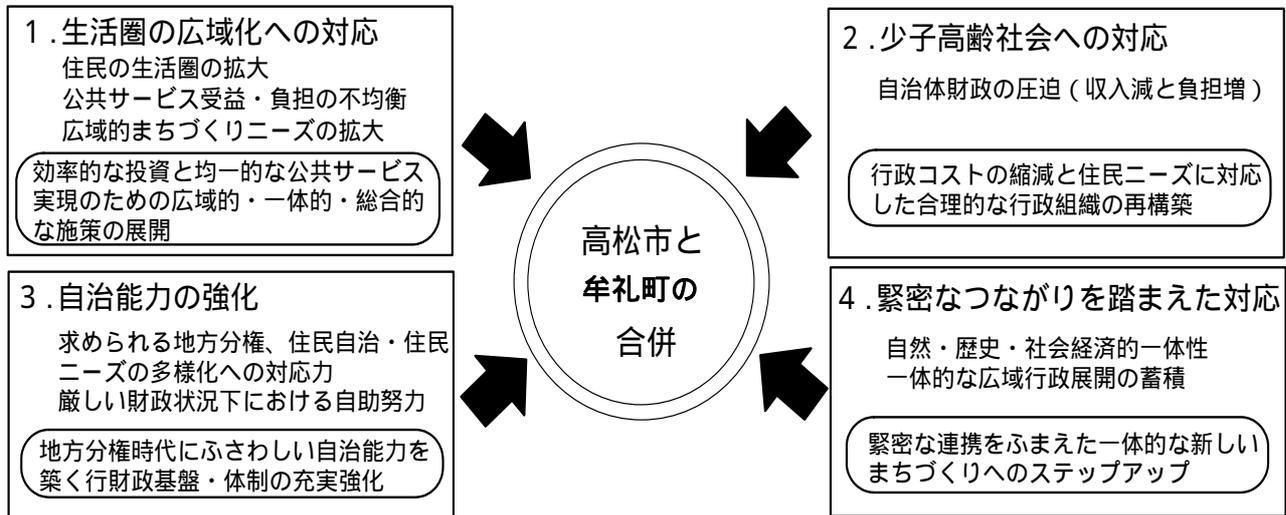


高松市と牟礼町の合併による “まちづくりプラン”(建設計画)の骨子

1. 合併の考え方



2. 高松市と牟礼町の合併によるまちづくり

2-1 合併による新しいまちづくりの理念

これまでの両市町のまちづくりの歩みを尊重し、地理的条件、都市機能や産業基盤、多様な地域資源や地域特性を生かしながら、地域全体の魅力や個性を一層高め、豊かで持続的発展が可能な地域社会、文化的で快適な生活が営める都市の創造をめざす。

また、みずからの判断と責任で、まちづくりを实践できる自立性の高い自治体をめざす。

このため、合併により、行財政基盤の充実強化を図り、一体的、効率的な行政を進め、多様化、高度化する住民ニーズや社会経済環境の変化に適切に対応した住民サービスと住民福祉の一層の向上を図る。

2-2 牟礼町地域のまちづくり

牟礼町地域の役割と機能

- (1) 高松市東部の発展を牽引する拠点機能：高松市東部地域の発展を牽引する拠点として期待される地域。
- (2) 自然、歴史、芸術・文化を生かした広域交流機能：多彩な自然環境と地域特有の石の芸術文化などの多彩な交流資源を活用した広域的な交流拠点。
- (3) 都市の魅力高め、地域の活力を育てる芸術・文化機能：石の芸術・文化と、儒学者柴野栗山の教えが受け継がれ、中高一貫校と医療大学が立地するなど、新たな教育・芸術・文化を創造することが求められる地域。



- 牟礼町地域の位置づけ -

“海、花、緑、石が調和した、芸術・文化の香り高い快適な生活交流ゾーン”

牟礼町地域の5つのまちづくりの基本目標と基本方針

(1) “連帯”のまちづくり
～保健・医療・福祉の充実した心身
ともに健康に暮らせるまちの実現～

少子・高齢化が進行する中、住民
同士の連帯に基づいて、保健・医療・
福祉の連携を図り、福祉の充実した、
心身ともに健康で暮らせるまちの実
現をめざします。

(2) “循環”のまちづくり
～自然を守り、生かした、自然と
共生するまちの実現～

牟礼町地域の豊かな自然、花や緑
と歴史が調和した景観を保全すると
ともに、循環型社会システムの構築
などにより、貴重な自然と里山風景
を守り、活用し、自然と共生するま
ちの実現をめざします。

(5) “参加”のまちづくり
～住民一人ひとりが参画するまちの実現～

地方分権の要となる「地域自治」の実現に向け、
行財政運営基盤の充実強化を進めるとともに、多様
な住民の声を施策に反映する仕組みづくり、住民自
治力の育成支援、情報公開・情報提供の拡充を図り
ながら、地域づくり、環境保全、文化、スポーツ、
観光、交流など、あらゆる面での住民活動を活発化
させることにより、次世代に誇れる、住民一人ひと
りが参画するまちの実現をめざします。

(3) “連携”のまちづくり
～安全・安心な生活環境のもと、う
るおい、ゆとり、文化、生活の豊か
さを創造するまちの実現～

価値観が多様化し、生活様式が変
化する中で、住民と行政の連携によ
る創意工夫に基づいて、住みやすい
安全で安心な生活環境を築き、うる
おい、ゆとり、文化、生活の豊かさ
を創造するまちの実現をめざしま
す。

(4) “交流”のまちづくり
～豊かな交流・産業資源を生かし
た活気あふれるまちの実現～

自然、史跡、石の芸術文化など、
豊かな交流資源を生かし、石材など
の地場産業をはじめとする商工業の
活性化、農業・水産業の持続的な振
興を図るとともに、交流のためのネ
ットワーク(ハード・ソフト)の充
実を図り、地域の活力と住民の元氣
を育てるまちの実現をめざします。

重点取り組み事項（「第3章 施策・事業」から抽出）

1 “連帯”のまちづくり

(1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきセンターの機能の活用 ・シルバー人材センターの機能充実等の支援
(2) 保健と医療の充実したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼのワークハウスの整備・活用 ・世代間交流の促進
(3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉の連携 ・救急医療ネットワークの強化
(4) 基本的人権を尊重するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育の拡充 ・児童館の整備

2 “循環”のまちづくり

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が実感できる環境づくり ・きれいなまちづくりプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・県営ため池整備
(2) 水資源を大切にすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管等の整備 ・公共下水道整備 ・浄化苑の施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道施設監視システム整備 ・特定環境保全公共下水道整備 ・合併処理浄化槽の設置促進
(3) 循環型社会を構築するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化・資源化の推進 ・ISO14001推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄監視体制の充実
(4) 自然景観とふれあう快適なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公営墓地・斎苑の整備 ・（仮称）塩屋・房前公園の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットオアシスの整備

3 “連携”のまちづくり

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の充実強化 ・消防・救急無線デジタル化整備 ・消防緊急情報システム整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災無線システム構築 ・携帯電話等緊急通報システム整備 ・生活道路環境の整備
(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア・リーダーの育成と子ども会活動の支援 ・教育情報通信ネットワークシステム整備 ・幼稚園、小・中学校施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・児童の安全対策 ・小・中学校ナイター設備工事
(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館巡回 ・中央公民館の改修 ・図書館ネットワーク事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・まなびCANインターネット整備運営 ・総合体育館などスポーツ施設の改修 ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援
(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子市役所」構築 ・戸籍事務の電算化 ・源平史跡整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新世代地域ケーブルテレビ施設整備 ・地籍調査事業 ・石の民俗資料館などの伝統文化施設の整備

4 “交流”のまちづくり

(1) 魅力ある観光・交流を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・イサム・ノグチ庭園美術館周辺整備 ・宮北川水辺地整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・源平史跡整備 ・遍路道（健康ロード、歴史・史跡探訪ロード）の整備の検討
(2) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・農業基盤の整備 ・農道等整備（県）【三木牟礼線、高松牟礼線、県道木田郡北部ルート 仮称 構想の検討】 	<ul style="list-style-type: none"> ・石材のブランド化、高付加価値化の促進
(3) 広域的な交流を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市道等整備【牟礼大町北部線、屋島線、高府庁線、白羽牟礼浜線、宮ノ前川原線、中代2号線、中代羽間線、役戸黒門線、平木線、中山田線】 	
(4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライド導入検討 ・都市計画マスタープラン策定 	

5 “参加”のまちづくり

(1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・支所機能の整備 ・簡素で効率的な行財政システムの構築
(2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動拠点の充実・整備 ・牟礼町地区地域審議会の開催
(3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり	

2 - 3 新しい高松市の都市づくり

将来構想を展望した都市づくりの方向

(1) 道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市づくり

都市交通網や情報通信基盤の整備を図り、付加価値を高めるソフト事業を戦略的に展開する中で、にぎわいとうるおいのある都市空間の創造、豊かな都市生活を支える質の高い都市サービスの向上を図る。効果的、効率的な都市政策や都市経営に取り組むことにより、道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市としての着実な発展を図る。

(2) 市民が住みやすく、いつまでも住み続けたいと思える都市づくり

保健、医療、福祉の充実や安全で安心して生活できる環境づくり、自然環境の保全と資源の循環的な利用を基調とした環境にやさしい循環型地域社会づくり、うるおいとゆとりのある生活環境の整備、教養文化、スポーツ・レクリエーションなど、生涯学習の充実や文化活動の促進を図る。様々な生活分野において、地域の有する施設や人材などのネットワーク化や連携、住民同士の連帯感の醸成を図る中で、市民福祉や市民生活に関する施策や取り組みを総合的、効果的に展開する。

(3) 地域の特性、特色を生かし、地域バランスに配慮した都市づくり

豊かで多彩な自然資源や都市資源、産業資源、歴史文化資源など、それぞれの地域の有する個性、特色を生かした地域づくりを進めるとともに、都市集積度の高い地域と中山間地域や島嶼部との間で、行政サービスの格差が生じないよう適切な対応に努める。

市民の利便性等を考慮する中で、施設や行政機能の都心部への一極集中とならないよう地域バランスに配慮するとともに、人口の減少している地域における定住促進を図る。

(4) 多様で幅広い交流を展開する都市づくり

交流人口の一層の拡大に向けて、円滑な交流を促す道路や海上を含む公共交通などの基盤整備、広域的な観光レクリエーション機能、情報発信などのソフト戦略の積極的な展開などにより、多様で幅広い交流を支える都市づくりを進める。

(5) 新しい時代をリードし、地域発展を支える産業を育てる都市づくり

産業構造の変化や情報化・高速化の時代に対応できる産業・経営基盤の強化を図るとともに、研究開発型産業、頭脳集約型産業やソフト産業など、時代をリードする新しい産業の育成や企業の誘致・立地の促進に努める。

自然や歴史文化、温泉などの豊かな観光・交流資源を生かした集客・交流産業の育成を重視するとともに、第一次産業と観光との融合などによる付加価値の高い産業の創出を促進するほか、生活、福祉サービスなど、コミュニティビジネスの育成を図る。

(6) 地域みずからが主体的に取り組む自立した都市づくり

情報公開と情報発信を積極的に推進する中で、女性をはじめ様々な分野の市民の参画を保障するシステムの構築など、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進める。

古い仕組みを改革と将来に向けた再生を図る中で、中核市としての機能を最大限に生かしながら、自己決定と自己責任の考え方により主体的に都市づくりに取り組むことのできる自立した自治体をめざす。

2 - 4 将来都市構想における望ましい都市像

21世紀の四国の州都を展望した
風格ある環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市 / グレーター高松の創造
- 海・^{まち}街・山と 人が融け合う 元気なまち・高松 -

(趣旨)

四国の州都にふさわしい風格のある都市づくりを展望した、環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市としてのグレーター高松の創造をめざすこととし、高松市の都市機能の集積をベースに、市街地中心部をはじめ、各地域の街(まち) 集落機能と、自然環境豊かな農村地帯、そして山間地域や島しょ部までの多様で特色ある地域が、融合し、一体となったまちづくりを進め、そこに生活する住民同士が、地域の共同目標を共有し、共通認識を持つことによって、地域の総合力を発揮する中で、元気のある都市(まち)を創り上げることを目標とするものです。

エリア別の機能整備の方向

臨海部・島嶼部エリア(海洋性交流創造エリア)

サンポート高松の親水・交流機能と連携し、瀬戸内海の地域資源を活用した海洋性レクリエーション機能、交流機能を軸としたゾーン形成を図ります。

また、観光・文化資源を生かした海洋性の文化・芸術交流の拠点の整備を図ります。

都市中心エリア(業務・都市型産業創造エリア)

サンポート高松を中心とした国際化、情報化に対応した新しい都市拠点機能の核づくりなどを通じて、高次都市機能の集積した中核拠点地域の形成を図ります。

また、香川インテリジェントパークを核とした新しい時代を拓く都市型産業や、特色ある文化の創造に向けた、技術・情報・文化の複合拠点の形成を図ります。

都市近郊エリア(田園型産業・生活創造エリア)

都市近郊の特性を生かし、豊かな田園環境と調和した生活文化交流ゾーンの形成を図ります。また、都市拠点地域と連携した商業・サービス機能の活性化を図るとともに、高松空港を活用した高付加価値型農業などの産業の振興を図ります。

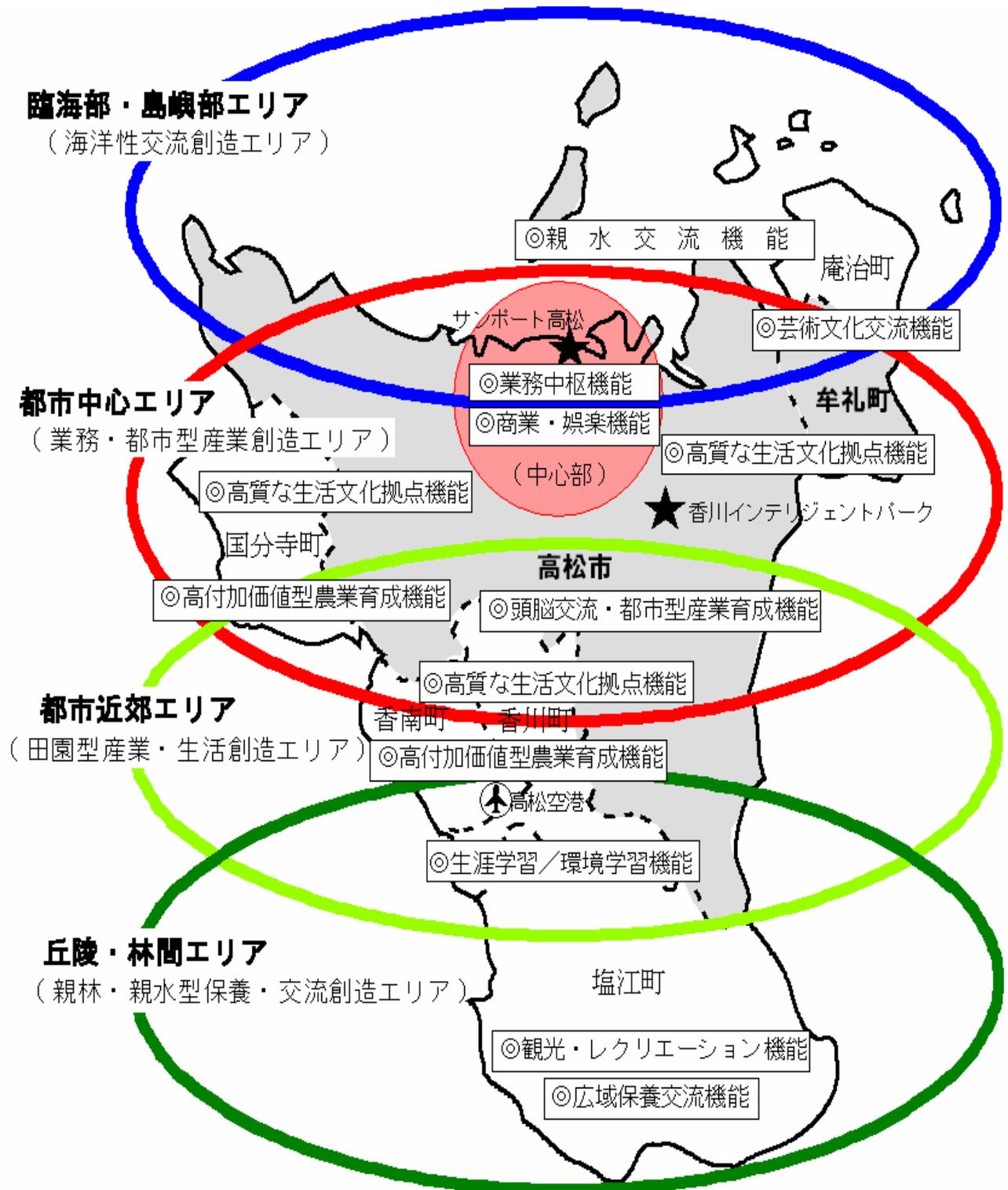
さらに、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

丘陵・林間エリア(親林・親水型保養・交流創造エリア)

温泉を核に、森林、清流などの自然環境を生かした観光・レクリエーション機能の集積を進め、親林・親水型保養・交流環境づくりを進める中で、圏域内外から広域的に誘客できる質の高い広域保養交流ゾーンの形成を図ります。

また、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

エリア別の機能整備（まちづくり）のイメージ図



（注） は特に重点的な育成が図られるべき機能

【建設計画 参考資料】

合併に伴う効果

(単位 千円)

項目	計画期間中	備考
人件費 (A)	2,788,863	
議員報酬等	695,331	
特別職報酬	388,847	牟礼町の町長・助役・教育長分
各種委員報酬	60,260	牟礼町の農業委員会委員等
職員に係るもの	1,644,425	退職不補充(66人) 一般行政職員削減(17人)
物件費 (B)	3,675,000	
合併に伴う効率化	3,675,000	牟礼町の物件費(年間約7億円)の1/2を削減
総合計(A+B)	6,463,863	